

科目名	エアラインサービスマナー						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者
実施年度	2021年度		実施時期		後期		担当者実務経験
対象学科・学年	エアライン科1年生						
授業概要	これからエアライン科の学生として学ぶ上で必要なマナーと身嗜み、ヘアメイクを学ぶ。本授業で基礎を学び、日々の学校生活の中で実践練習を積み、活かしてもらう。航空業界の受験に必要な基本的な素質の定着も図る。						
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			エアラインメイクが出来る。	
			○			社会人として基本的なマナー(特に立ち居振る舞い)を実際に行動化出来る。	
			○			就職試験での入退室のマナーを理解し、行動化出来る。	
		○				客室乗務員、グランドスタッフの基本業務を理解し、基本動作が出来る。	
			○			丁寧で美しい言葉遣いで自己アピール出来る。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	自己紹介					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
	2	目標設定					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
	3	挨拶の仕方・第一印象について					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
	4	エアラインヘアメイクレッスン(ベースメイクの基礎)					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
	5	エアラインヘアメイクレッスン(アイシャドウ・口紅の選び方)					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
	6	エアラインヘアメイクレッスン(髪型のまとめ方)					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
	7	エアラインヘアメイクレッスン(実戦練習・まとめ)					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
	8	接客練習(挨拶の仕方)					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
	9	接客練習(お辞儀の仕方)					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
	10	面接の受け方(就職面接で重要視されること)					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
	11	面接の受け方(入退室について)					授業内容に係る実技テストを実施するので、練習しておくこと(0.5時間)
	12	面接の受け方(入退室、挨拶の仕方について)					授業内容に係る実技テストを実施するので、練習しておくこと(0.5時間)
	13	客室乗務員の業務について					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
	14	グランドスタッフの業務について					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
	15	自己表現の仕方					授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)
評価方法	・面接時における入退室の実技試験を行う(授業内) (チェック項目:第一印象・身嗜み・メイク・入退室方法・所作) ・数回、レポート課題をだす						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	入退室試験			○			80%
	提出物	○			○		20%
履修上の注意	スーツで参加。髪型、メイクを美しく整えて、授業に臨むこと。						

科目名	コミュニケーション技法						
科目名(英)	Communication						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	小川 果
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	コミュニケーションとは何か、より良いコミュニケーションのために大切なことは何かを理解する。 言いたいこと、言うべきことを明確・簡潔に相手へ伝えることができるようになる。 言語表現力を高めることにより、セルフエスティーム(自己肯定感)を向上し、新たな社会で生きていく自信をつける。 社会での事象に関心を深く持ち、自分自身と社会を関連づけて考えることができるようになる。						
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					1対1での対話がきちんとできる。	
	○					自らの意見・考え方・価値観を開示することができる。	
		○				人の話をしっかりと聞き、考え方や価値観の多様性を受容できる。	
		○				ニュースに関心をもち、社会的存在としての自分に気づくことができる。	
		○				自分とは何か、自分はどんな人間かをより深く考えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	社会とは何か ― 社会とは？家庭とは？クラスとは？					
	2	何を学ぶか ― 何を手に入れたいか？コスト意識を持つ					
	3	コミュニケーション(1) ― マナー・返事・1対1で話す					
	4	コミュニケーション(2) ― 聞く・質問する					
	5	コミュニケーション(3) ― 相手の話を要約する					
	6	コミュニケーション(4) ― 実践報告					
	7	スピーチ(1) ― 「物」を媒介にして自分を伝える					
	8	スピーチ(1) ― 7講座の続き					
	9	スピーチ(2) ― 「言葉」を媒介にして自分を伝える					
	10	スピーチ(2) ― 9講座の続き					
	11	スピーチ(3) ― 「ニュース」を媒介にして自分を伝える					
	12	スピーチ(3) ― 11講座の続き					
	13	自己分析 ― あなたはどんな人ですか？					
	14	グループディスカッション ― テーマ未定					
	15	再び、社会とは何か ― 社会人となるため留意するポイント					
評価方法	成績は下記の観点・割合で評価する (1)出席状況 (2)平常点(発表の回数) (3)技能点(各課題ごとに評価)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				◎		30%
	平常点(発表の回数)		○		◎		30%
	技能点	◎	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	接客サービスマナー						
科目名(英)							
単位数	3単位		時間数	45時間		担当者	村上 舞
実施年度	2021年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	国際線客室乗務員として勤務
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	接客サービスマナー検定2級の取得 ビジネスマナーの基本を身につけ、就職活動に生かす サービススタッフとしての心構えを理解する						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					接客に使う敬語を使えるようになる	
	○					接客に使う漢字を書くことができ、使えるようになる	
	○	○				仕事をする上で電話をかけることができるようになる。	
	○	○				時候の挨拶、頭語、結語を使った手紙が書けるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	清文社 接客サービスマナー検定 過去問題集 ウィネット 実践ビジネスマナー 課題プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	検定概要、オリエンテーション					
	2	会社組織の仕組み					
	3	言葉遣い 尊敬語					
	4	言葉遣い 謙譲語					
	5	言葉遣い 丁寧語				小テスト実施。対策しておくこと。	
	6	来客応対					
	7	電話応対					
	8	シチュエーション問題				小テスト実施。対策しておくこと。	
	9	手紙送付のマナー					
	10	慶弔時のマナー					
	11	贈答時のマナー					
	12	一般常識問題(サービス関連)① 漢字					
	13	一般常識問題(サービス関連)② カタカナ英語				小テスト実施。対策しておくこと。	
	14	模擬試験①					
	15	模擬試験②					
	16	模擬試験③					
	17	模擬試験④					
	18	模擬試験⑤					
	19	模擬試験⑥					
	20	模擬試験⑦					
	21	模擬試験⑧					
	22	模擬試験⑨					
	23	定期試験対策					
	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合

科目名	エアライン入門						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平田 かおり		
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	国際線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	この授業では、昨今の航空業界の国際グローバル化に伴い現場で必要となる航空基礎知識を習得し、将来業界で活躍できる人材(人財)を育成する。また空港インターンシップとの連動することで実践の場を設け、具体的なスキルを身に付けていく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空関連業務の内容を学び、業界の概要を説明することができる。	
		○				航空業界で働くために必要な専門知識を習得し、実習や業界就職で活かすことができる。	
		○				業界で使用されるdocumentの基本となる時刻表が読めるようになる。	
				○		将来従事する職種を理解し、必要な知識だけでなく技能や心構えを持つことができる。	
テキスト・教材 参考図書	航空業界ガイドブック2019、サブノート、その他配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	導入(地理理解)、航空系の仕事について					
	2	空港の種類、2レター、主要空港コード、国際関係組織				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	3	アライアンス、スポット配置、業界用語				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	4	CIQ～税関の詳細				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	5	免税範囲、関税法				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	6	CIQ～出入国審査の詳細				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	7	旅券、査証				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	8	CIQ～検疫、WHO指定感染症				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	9	航空危険物				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	10	マニフェスト理解① AWB、DG				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	11	マニフェスト理解② GD				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	12	ケータリング(SPML、宗教理解)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	13	フォネテックアルファベット、航空無線				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	14	OAG				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
15	航空業界の目指す安全、学期総括						
評価方法	(1)授業の中で確認テストを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	◎		◎		30%
	宿題・レポート	○	◎		◎		20%
履修上の注意							

科目名	実用英語 I A				
科目名(英)	Practical English I A				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科1年				
授業概要	国際化が進む中、航空業界をはじめサービス業界全般で英語能力が求められているため、基礎力の向上を目指す。英語運用能力を測る代表的な資格として、TOEIC550点以上取得を目指し、分野別問題解法ポイントを習得していく。日常英会話に留まらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの英語力を持つ人材となることを目指す。				
授業形式	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	TOEIC L&Rテスト書き込みドリル(リスニング編)、新TOEICテスト書き込みドリルボキャブラリー編 公式TOEIC Listening&Reading問題集、Basic Reading Strategies for the TOEIC Test				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	レベル分けテスト			
	2	TOEIC学習目標と出題形式、解法のテクニック Part5対策 ボキャブラリー WORD FORM(品詞、派生語)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	3	Part5対策 ボキャブラリー 前置詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	4	Part5対策 ボキャブラリー 接続詞 前置詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	5	Part5対策 ボキャブラリー 動詞、助動詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	6	Part5対策 ボキャブラリー 代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	7	Part5対策 ボキャブラリー 形容詞、副詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	8	Part5対策 ボキャブラリー 冠詞、序数			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	9	Part5対策 ボキャブラリー 比較級 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	10	Part5対策 ボキャブラリー 最上級			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	11	Part5対策 ボキャブラリー 形容詞、副詞、比較級、最上級 リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	12	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	13	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	14	Part5対策 ボキャブラリー 不定詞、動名詞、分詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	15	Part5対策 ボキャブラリー 関係代名詞 リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	16	Part5対策 ボキャブラリー 関係副詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	17	Part7対策 ボキャブラリー 文法(仮定法) リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	18	Part7対策 ボキャブラリー 文法(仮定法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	19	Part7対策 ボキャブラリー 文法(話法) リスニング対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	20	Reading part5対策 ボキャブラリー			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	21	Reading Part5対策 ボキャブラリー リスニングPart1.2対策			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	22	Reading対策 ボキャブラリー Skimming Scanning			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。(1時間)
	23	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策①解法説明			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)
	24	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策②基本問題演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)
	25	Reading Part5対策 リスニングPart1.2対策③時間内に解く			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。(1時間)

科目名	実用英語 I A				
科目名(英)	Practical English I A				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	宮崎 みゆき
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	空港にて国際線グランドスタッフとして勤務
対象学科・学年	エアライン科・1年				
授業概要	航空業界という国際的なステージで活躍するためには、英語運用能力を十分に習得しておく必要がある。そのため、航空業界の就職においては、応募条件として英語能力を掲げられている(TOEICでCA: 600点以上、GS: 550点以上)。実際に現場では、旅客への対応だけでなく、海外スタッフとのコミュニケーションをとったり渡航書類の確認したりと、業務において英語を活用する頻度は高い。この授業では、英検2級・TOEIC500点以上の取得を目指し、問題演習を通じて英語運用能力を高めていく。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
目標					
社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。 ・次回ミーティングが、いつ、どこで行われるかについての説明を理解できる。					
社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・留守電のメッセージを聞き、相手の用件や電話番号等が聞き取れる。 ・入国管理官に、滞り場所、期間、旅の目的を英語で聞かれた時、質問が理解できる。					
テキスト・教材 参考図書	「公式TOEIC Listening & Readingトレーニング リーディング編・リスニング編」、TOEIC公式問題集、英検2級過去問題				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	授業概要説明、英検2級の問題構成、レベルチェックテスト			特になし。
	2	解法ポイントの理解ーリスニング、ライティング			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	3	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	4	解法ポイントの理解ーリスニング、長文読解、ライティング			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	5	過去問題演習1.1ーリスニング、語彙・文法			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	6	過去問題演習1.2ーリスニング、語彙・文法、長文の空欄補充			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	7	過去問題演習1.3ーリスニング、長文の内容一致選択			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	8	過去問題演習1.4ーリスニング、長文の内容一致選択、ライティング			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	9	過去問題演習2.1ーリスニング、語彙・文法			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	10	過去問題演習2.2ーリスニング、語彙・文法、長文の空欄補充			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	11	過去問題演習2.3ーリスニング、長文の内容一致選択			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	12	過去問題演習2.4ーリスニング、長文の内容一致選択、ライティング			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	13	過去問題演習3.1ーリスニング、語彙・文法			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	14	過去問題演習3.2ーリスニング、語彙・文法、長文の空欄補充			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	15	過去問題演習3.3ーリスニング、長文の内容一致選択			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	16	過去問題演習3.4ーリスニング、長文の内容一致選択、ライティング			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	17	模擬試験			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	18	2級対策まとめ、受験時の注意			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	19	TOEIC概要説明、Part別の解法について			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	20	Listening/Part1解法確認、Reading/Part5解法確認			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	21	Listening/Part2解法確認、Reading/Part5解法確認、品詞問題			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	22	Listening/Part3解法確認、Reading/Part5解法確認、品詞問題			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	23	Listening/Part4解法確認、Reading/Part5解法確認、動詞問題			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)
	24	Listening/Section1、Reading/Part5解法確認、動詞問題			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)

	25	Listening/Section2、Reading/Part6解法確認	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	26	Listening/Section3、Reading/Part7解法確認	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	27	Listening/Section4、Reading/Section1	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	28	Listening/Section5、Reading/Section2	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	29	Listening/Section6、Reading/Section3	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	30	Listening/Section7、Reading/Section4	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	31	Listening/Section8、Reading/Section5	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	32	Listening/Section9、Reading/Section6	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	33	Listening/Section10、Reading/Section7	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	34	Listening模擬試験①、Reading/Section8	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	35	Listening/Section11、Reading/Section9	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	36	Listening/Section12、Reading/Section10	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	37	Listening/Section13、Reading模擬試験①	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	38	Listening/Section14、Reading/Section11	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	39	Listening/Section15、Reading/Section12	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	40	Listening/Section16、Reading/Section13	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	41	Listening/Section17、Reading/Section14	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	42	Listening/Section18、Reading/Section15	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	43	Listening/Section19、Reading/Section16	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	44	Listening/Section20、Reading/Section17	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	45	TOEIC対策まとめ、受験時の注意	意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	授業中に小テストを受験できなかった学生は、必ず申し出てください。(別途、対応をします) 全ての小テスト受験、課題提出をお願いします。						

科目名	実用英語 I A				
科目名(英)	Practical English I A				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	村上 舞
実施年度	2021年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	国際線客室乗務員として勤務
対象学科・学年	エアライン科 1年				
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目標					
時制や現在完了、受動態などの文法を理解し、説明することが出来る。					
会話、アナウンスを聞き取ることが出来る。					
基本構文を用いた文章作成をし、英検2級レベルの英作文を書くことが出来る。					
ビジネス英語の基本語彙を使った英文を読み取ることが出来る。					
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去問題集 TOEICリーディングストラテジー、TOEIC公式問題集など				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	英検準2級チェックテスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	2	英文法① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	3	英文法② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	4	英文法③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	5	重要名詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	6	重要名詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	7	重要動詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	8	重要動詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	9	重要形容詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	10	重要副詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	11	覚えておきたい接頭語、接尾語 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	12	重要前置詞とフレーズ① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	13	重要前置詞とフレーズ② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	14	重要前置詞とフレーズ③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	15	重要前置詞とフレーズ④ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	16	不定詞と動名詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	17	関係詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	18	ライティング対策① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	19	ライティング対策② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	20	中間テスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	21	英検2級振り返り TOEICチェックテスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	22	TOEIC対策 品詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	23	TOEIC対策 品詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	24	TOEIC対策 品詞③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	25	TOEIC対策 代名詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	26	TOEIC対策 関係代名詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)
	27	TOEIC対策 関係代名詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)

	28	TOEIC対策 接続詞、前置詞① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	29	TOEIC対策 接続詞、前置詞② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	30	TOEIC対策 動詞① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	31	TOEIC対策 動詞② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	32	TOEIC対策 表、用紙 リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	33	TOEIC対策 手紙、Eメール リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	34	TOEIC対策 広告 リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	35	TOEIC対策 ダブルパッセージ① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	36	TOEIC対策 ダブルパッセージ② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	37	TOEIC対策 part5演習① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	38	TOEIC対策 part5演習② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	39	TOEIC対策 part5演習③ リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	40	TOEIC対策 part6演習① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	41	TOEIC対策 part6演習② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	42	TOEIC対策 part6演習③ リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	43	TOEIC対策 part7演習① リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	44	TOEIC対策 part7演習② リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
	45	TOEIC対策 part7演習③ リスニング	テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。 (1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)	General English I A						
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者		
実施年度	2021年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語力の土台となる品詞に対する理解を深め、TOEICのPart5と6の問題へのアプローチ方法を学び、実践での対応力を培っていく。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各品詞の働きを理解し、TOEIC Part.5/6の問題で正しい選択肢を選ぶことができる。	
	○			○		TOEIC600点レベルの単語を覚え、品詞・意味を答えることができる。	
		○				TOEIC Part.5/6に頻出の問題タイプを把握しておき、すぐに解法を判断できる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:アルク「TOEICに出る英文法出るとこだけ!」、桐原書店「TOEICテスト書き込みドリル」、アスク出版「TOEIC L&Rテスト文法問題で1000問」など						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要、ボキャブラリーコンテストの説明、基本品詞の確認				英語辞書を準備しておくこと。	
	2	品詞① ― 4大品詞:名詞・動詞				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	3	品詞② ― 4大品詞:形容詞・副詞				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	4	TOEIC Part5演習 ― 品詞問題				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	5	動詞① ― 動詞の役割、主述の一致				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	6	動詞② ― 不定詞と動名詞				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	7	動詞③ ― 態、時制				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	8	TOEIC Part5演習 ― 動詞問題				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	9	品詞③ ― 前置詞と接続詞				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	10	TOEIC Part5演習 ― 前置詞・接続詞問題				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	11	TOEIC Part5・6問題演習① ― どの出題パターンかを判断する				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	12	TOEIC Part5・6問題演習② ― 解法をすぐに判断する				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	13	TOEIC Part5・6問題演習③ ― 時間内に目標数を解く				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	14	第1回ボキャブラリーコンテスト、TOEIC Part5・6問題演習④				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
	15	総復習				必ず復習して、次の授業に臨むこと。(1時間) 単語テストの準備をしておくこと。	
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ボキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。(4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ボキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	英語辞書、プリント用ファイルを準備しておくこと。必ず、全ての小テストを受験すること。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)	General English I A						
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者		
実施年度	2021年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語基本文法の復習を行い、英検やTOEICで活用できるようになる。						
授業形式	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				高校中級程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。	
	○			○		TOEIC頻出単語300語を覚え、意味を正しく選択できる。	
		○				適切な文法と語彙を用いて、英作文を書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	南雲堂『First Primer revised edition』、朝日新聞出版『TOEIC®L&R TEST出る単特急 金のフレーズ』、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	レベルチェックテスト				特になし。	
	2	シラバス配布、ボキャブラリーコンテスト説明、be動詞				特になし。	
	3	単語テスト①、be動詞、一般動詞(現在)				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	4	単語テスト②、一般動詞(過去)				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	5	単語テスト③、進行形				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	6	単語テスト④、未来形				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	7	単語テスト⑤、助動詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	8	単語テスト⑥、これまでの復習				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	9	単語テスト⑦、名詞・冠詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	10	単語テスト⑧、代名詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	11	単語テスト⑨、前置詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	12	単語テスト⑩、形容詞・副詞				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	13	単語テスト⑪、品詞のまとめ				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
	14	第1回ボキャブラリーコンテスト、まとめ問題演習				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。	
15	前期のまとめ				前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ボキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。(4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ボキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)	General English I A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平田 かおり		
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	国際線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語基本文法の復習を行い、英検やTOEICで活用できるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	○			○			
		○					
テキスト・教材 参考図書	南雲堂『基礎からの英語入門 First Primer』、朝日新聞出版『TOEIC®L&R TEST出る単特急 金のフレーズ』、						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベルチェックテスト			特になし。		
	2	シラバス配布、ボキャブラリーコンテスト説明、be動詞			特になし。		
	3	単語テスト①、be動詞、一般動詞(現在)			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	4	単語テスト②、一般動詞(過去)			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	5	単語テスト③、進行形			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	6	単語テスト④、未来形			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	7	単語テスト⑤、助動詞			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	8	単語テスト⑥、これまでの復習			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	9	単語テスト⑦、名詞・冠詞			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	10	単語テスト⑧、代名詞			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	11	単語テスト⑨、前置詞			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	12	単語テスト⑩、形容詞・副詞			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	13	単語テスト⑪、品詞のまとめ			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
	14	第1回ボキャブラリーコンテスト、まとめ問題演習			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。		
15	前期のまとめ			前回の内容を復習しておくこと。(1時間) 単語テストの範囲を勉強しておくこと。			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ボキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。(4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ボキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名 Subject Name		Airline English I										
科目名(英) Same as Above		Airline English I										
単位数 Credits		1		時間数 Hours		15		担当者 Instructor				
実施年度 Year		2021		実施時期 Semester		1		実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area				
対象学科・学年 Class		Airline 1										
授業概要 Subject Description		1. Students can raise their English proficiency. 2. Students can gain more confidence in using English. 3. Students can gain workplace related English skills.										
授業形式 Class Format		講義: Lecture △		演習: Practice ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus		言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標 Targets					
		○					Students can raise their English proficiency.					
		○					Students can gain more confidence in using English.					
		○					Students can gain workplace related English skills.					
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References		Speakout Elementary Book1										
授業計画 Class Schedules and Contents		回数	授業項目・内容 Topics and Contents					授業外学修指示 Preparation and Review				
		1	Get to know your teacher or 1.1 Nice to meet you					none				
		2	1.2 Travel Light					Preview lesson materials and review previous lesson				
		3	1.3 Can I Have a Coffee?					Preview lesson materials and review previous lesson				
		4	Teacher's Lesson or 1.4 Fawltly Towers (needs TV/DVD)					Preview lesson materials and review previous lesson				
		5	1.5 Lookback /teacher's lesson and/or review					Preview lesson materials and review previous lesson				
		6	2.1 Join Us					Preview lesson materials and review previous lesson				
		7	Review for the In-class speaking test					Preview lesson materials and review previous lesson				
		8	Speaking Test					Preview lesson materials and review previous lesson				
評価方法 Assessment Method		Students evaluation: (1) Test - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)										
							言語情報 Language Info.	知的技能 Intellectual Skills	運動技能 Physical Skills	態度・意欲 Attitude/Ea gerness	その他 Other	評価割合 Percentage of Assessment
		定期試験 Semester End Exam					○	○		○		50%
		小テスト In-class Tasks					○	○		○		50%
履修上の注意 Remarks		Students will not receive a grade if they miss more than 3 classes.										

科目名	SPI対策 I A							
科目名(英)	Preparation for Synthetic Personality Inventory I A							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	宮崎・村上・中山・合力	
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科・1年							
授業概要	航空業界への就職試験では、多くの企業でテストセンターやWEBテスト、ペーパーテスト等の適性検査が実施されている。その際、制限時間内に正確な解答を導き出す力が必要である。この授業では、SPI非言語分野の頻出テーマをとりあげ、その解き方を学ぶ。また、近年多く実施されているWEBテストでの四則逆算問題対策として、この授業では時間内に目標数の四則演算問題を解けるようになる。							
授業形式	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					SPI非言語分野頻出テーマの基本的な解き方を学び、覚える。		
		○				各問題に対する基本的な解き方を覚えた上で、応用問題にも活用できる。		
		○				四則演算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。		
		○				SPI非言語分野頻出テーマの基本的な解き方を他者に対して説明できる。		
テキスト・教材 参考図書	教材：オリジナルプリント 参考図書：新星出版「本気で内定！SPIテストセンター1200題」、ナツメ社「史上最強SPI&テストセンター超実戦問題集」 学研教育出版「SPI3をひとつひとつわかりやすく」、羊泉社「これが本当のSPI3だ!」							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	第1回レベルチェック(クラス分け)テスト				特になし。		
	2	速さ(基本公式の確認・速さの変換)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(0.5時間)		
	3	速さ(往復の速さ・応用問題)、旅人算(基本公式の確認)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	4	旅人算(出会い算・追いかかけ算応用問題)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	5	場合の数・確率				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	6	確率・集合				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	7	前半範囲のまとめ				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	8	第2回レベルチェック(クラス分け)テスト				速さ～集合の範囲まででテストを実施する為、復習をしておくこと。(3時間)		
	9	仕事算				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	10	代金精算・割引料金				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	11	損益算(基本用語・公式の確認、基礎問題演習)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	12	損益算(応用問題)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	13	推論(正誤判断・順番推理)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	14	推論(内訳推理・密度/濃度)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	15	前期範囲のまとめ				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。習った範囲の復習をしておくこと。(0.5時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)宿題を課す。 (3)中間テストとして、第2回レベルチェックテストを実施する。(4)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	◎				70%	
	中間テスト (第2回レベルチェックテスト)	◎	◎				20%	
	宿題・確認テスト	○			◎		10%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	日本語表現						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき	
実施年度	2021年度		実施時期	前期	担当者実務経験	空港にて国際線グランドスタッフとして勤務	
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	「言葉」と一言でいっても、話す言葉や書く言葉などの様々な種類の言葉が存在する。各場面に応じた言葉の遣い方やマナーがあり、言葉はその人の人格や品位までもを表すといわれている。その為、語彙力を鍛え、日本語を正しく理解して状況に応じて遣い分ける力が必要となる。この授業では、空港インターンシップや就職活動での言葉遣いを意識しながら、丁寧な日本語の表現方法を理解し、活用できるようになることを目指す。また、航空業界の就職試験に頻出の漢字やことわざを覚え、書き取りや意味の選択ができるようになる。						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					一般常識問題として頻出の漢字や熟語、ことわざ、慣用句を覚え、意味を説明できる。	
		○				話し言葉と書き言葉の違いを理解し、文章を訂正することができる。	
		○				敬語の遣い方を覚え、正しい表現を選択し活用することができる。	
		○		○		1冊の本を読み、そこから得た学びを自分の言葉で表現することができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書: 日本経済新聞出版社「言葉にできるは武器になる」、SBクリエイティブ「大人の語彙力ノート」、角川新書「語彙力こそが教養である」、宝島社「語彙力練習帳」、日本実業出版社「文章力の基本の基本」						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス配布、授業概要・確認テスト・言葉ノートについての説明				特になし。	
	2	確認テスト①、本を読む習慣づくり、言葉の遣い方で与える印象の違い				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)	
	3	確認テスト②、言葉遣いの基礎知識				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)	
	4	確認テスト③、人生に影響を与えた言葉①グループワーク				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)	
	5	確認テスト④、人生に影響を与えた言葉②クラス代表者発表				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)	
	6	確認テスト⑤、敬語のルール				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)	
	7	確認テスト⑥、状況に応じた敬語の遣い方				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)	
	8	確認テスト⑦、クイズで育てる言葉力				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)	
	9	確認テスト⑧、間違いやすい日本語表現①慣用句・ことわざ				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)	
	10	確認テスト⑨、間違いやすい日本語表現②敬語・言い回し				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)	
	11	確認テスト⑩、ことわざ・名言を用いた自己分析				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)	
	12	確認テスト⑪、自分を言葉で表現する				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)	
	13	確認テスト⑫、座右の銘・モットーとなる言葉①グループワーク				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。(1時間)	
	14	座右の銘・モットーとなる言葉②クラス代表者発表				事前課題に取り組むこと。(1時間)	
	15	前期まとめ、日本語表現・一般常識クイズ大会				授業で学んだ範囲を復習しておくこと。(1時間)	
評価方法	(1)授業の中で小テストを12回実施する。80%の正答率で合格とし、不合格者には再テストを実施する。 前期末に得点の総合ランキングを発表し、上位者を前期終了時に表彰する。 (2)数回、レポート課題を実施する。 (3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎			○		70%
	確認テスト	◎			○		20%
	レポート提出				◎		10%
履修上の注意	特になし。						

科目名	一般教養 I A						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	宮崎 みゆき
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	空港にて国際線GSとして勤務
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の企業の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					漢字検定準2級程度の漢字までの読み書きができる	
	○					方程式・因数分解などの問題を理解し解答することができる	
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる	
	○					日本をはじめとした主要国の地理や政治についての基礎的な内容を理解し説明ができる	
テキスト・教材 参考図書	「専門学校生のための一般常識トレーニング」 一ツ橋出版 第4版 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目概要・シラバス説明				次回学習部分に目を通しておく(0.5時間)	
	2	ROUND1: 漢字、英語(動詞の活用変化)、主な国際機関、時事用語				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	3	ROUND2: 社会(環境問題、選挙、国内政治、宗教)、漢字の知識				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	4	ROUND2: 英語(英文書き換え)、敬語表現、文学史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	5	ROUND3: 英語(単語の知識)、社会(憲法、思想)、国語(漢字の知識、四字熟語)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	6	ROUND4: 社会(歴史、国際連合)、文学史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	7	ROUND4: 社会(歴史、地理)、計算問題(分数) ROUND5: 国語(漢字の知識)、時事問題				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	8	ROUND5: 社会(世界の発明家)、英語(動詞の活用変化、時制、仮定法) ROUND6: 主な国際機関、英語(空所補充)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	9	ROUND7: 国語(四字熟語)、社会(各国の歴史と現状、名言、名句) ROUND8: 国語(ことわざ)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	10	ROUND8: 社会(天皇の国事行為、内閣、歴史)、英語(単語の知識) ROUND9: 英語(熟語の知識)、時事問題、数学(損益算)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	11	ROUND9: 社会(歴史、国内経済)、数学(指数、割合)、英語(空所補充)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	12	ROUND10: 英語(単語の知識)、社会(経済)、数学(√の計算)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	13	ROUND10: 国語(漢字の知識)、社会(各国の歴史と現在の状況)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	14	ROUND10: 英語(空所補充)、時事問題				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	15	ROUND1～10のまとめ				試験範囲の部分の復習(1.5時間)	
評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト (3)出席状況 以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○		○		80%
	小テスト(筆記・2回)	◎	○		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	特になし						

科目名	Word 演習						
科目名(英)	Word						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	山田 智子
実施年度	2021年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	パソコンの基本になるマウスの正しい操作方法や文字の入力を学ぶ。入力に関しては、タッチタイピング(キーボードを見ないで文字入力)をすることが実務で必要になるので、タイプクイックソフトを使いマスターする。また、文字入力は後期に学習する航空券の発券業務に必要となるので、ヘボン式のローマ字入力を正確に学ぶ。テキスト「30時間でマスター Word2016」を使って一般的なビジネス文書(社内文書・社外文書)や表の作成方法を学習する。ビジネス文書作成上のマナーを学習する。						
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				マウス(パソコンの基本操作)を正しく操作できる。	
			○	○		キーボードを見ないで文字入力ができる。	
		○	○			ヘボン式ローマ字で文字入力ができる。	
	○					ビジネス文書の社外文書と社内文書の違いを説明することができる。	
		○	○			ビジネス文書作成に必要な文字入力や編集機能を効率的に操作できる。	
テキスト・教材 参考図書	タイプクイック 30時間でマスター Word2016						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	授業概要の説明とパソコンの基本操作					
	2	タイプクイックの設定と操作					毎日15～20分タイプクイックの練習をする。
	3	タイプクイック・Word2016の基本操作					毎日15～20分タイプクイックの練習をする。
	4	タイプクイック・Word_ローマ字入力					毎日15～20分タイプクイックの練習をする。
	5	タイプクイック・Word_いろいろな文字入力					毎日15～20分タイプクイックの練習をする。
	6	タイプクイック・Word_効率的な文字の訂正					毎日15～20分タイプクイックの練習をする。
	7	Word_文章入力・入力練習問題・タイプクイック成績提出					テキスト記載の実習問題6～17を完成させる (1時間)
	8	文字編集機能・入力速度テスト(小テスト1回目)					テキスト記載の実習問題6～17を完成させる (1時間)
	9	文書作成_社内文書の作成・社内文書の特徴について					テキスト記載の実習問題18を完成させる (1時間)
	10	文書作成_社外文書の作成と作表・社外文書の特徴について					テキスト記載の実習問題19を完成させる (1時間)
	11	文書作成_画像・テキストボックスの挿入・文書作成練習問題					テキスト記載の実習問題20～22を完成させる (1時間)
	12	文書作成テスト(小テスト2回目)・作表機能の学習					
	13	オブジェクトを含んだ文書作成_画像の挿入と編集・ワードアート					テキスト記載の実習問題24を完成させる (1時間)
	14	オブジェクトを含んだ文書作成_図形描画					テキスト記載の実習問題25,27を完成させる (1時間)
	15	期末実技試験					
評価方法	(1)タイプクイックの成績提出(Lesson6まで、正解率95%以上)とタッチタイピングの習得。 (2)授業内容の把握状況を確認する小テスト(入力・文書作成)を2回実施する。 (3)課題提出テキスト「30時間でマスター Word2016」内の入力練習文・ビジネス文書作成の練習問題の8割以上。 (最終授業終了時にメモリ提出。期限までに提出することも評価条件に含む。) (4)作表や画像を含む文書作成の実技問題を期末試験とする。 成績評価基準は、成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(実技)	○	◎	◎			50%
	タイプクイックとタッチメソッド			◎	◎		10%
	小テスト	○	○	◎			20%
	課題提出		○	◎	◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、評価はDとする。 タッチメソッドは継続したトレーニングによって習得できる物なので、毎日15～20分程度の自主トレーニングが必要である。						

科目名	ペン字										
科目名(英)	Penmanship										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		入江 陽子		
実施年度	2021年度		実施時期		前期		担当者実務経験		書道講師歴36年		
対象学科・学年	エアライン科1年										
授業概要	・航空業界で働く者として、日常生活における硬筆書写の一般知識・理解を深め、業務遂行時に実践できる基礎力を習得する。 ・正しいペンの持ち方・姿勢を守り、書写することにより集中力を身につける。										
授業形式	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					正しい言語づかいで、自分の履歴書を書くことができる。					
			○			書式に従って、美しい文字で書写することができる。					
テキスト・教材 参考図書	なし										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	ペン字基本 ― 氏名練習、履歴書書式					ボールペンの練習をしておくこと。 (0.5時間)				
	2	ペン字基本 ― 基本点画					氏名の練習を復習しておくこと。 (0.5時間)				
	3	ペン字基本 ― 基本点画・筆順					基本点画を復習しておくこと。 (0.5時間)				
	4	ペン字基本 ― 字形の整え方、字形24体					筆順を復習しておくこと。 (0.5時間)				
	5	ペン字基本 ― 字形の整え方、へんとつくり					字形の整え方を復習しておくこと。(0.5時間)				
	6	ペン字基本 ― 平仮名の字源、片仮名					平仮名の復習をしておくこと。(0.5時間)				
	7	履歴書 ― 履歴書を体裁よく書くコツ					履歴書の必要事項を調べておくこと。(0.5時間)				
	8	履歴書 ― 履歴書ペン書き練習					履歴書の下書きを仕上げておくこと。(1時間)				
	9	履歴書 ― 横書きを美しく書く為のコツ・清書					履歴書ペン書きをしておくこと。(1時間)				
	10	実用書 ― 筆ペンの用筆・基本点画					履歴書清書を提出できるようにしておくこと。(2時間)				
	11	実用書 ― セタ短冊・芳名帳					基本点画を復習しておくこと。(0.5時間)				
	12	実用書 ― のし書きの書式					氏名の練習をしておくこと。(0.5時間)				
	13	実用書 ― はがき(暑中見舞)、封筒の書式					筆ペンに書きなれておくこと。(0.5時間)				
	14	就活にむけて ― 求職票の書式					自己紹介文を考えておくこと。(1.5時間)				
	15	就活にむけて ― エントリーシートの書き方					苦手な文を考えておくこと。(1時間)				
評価方法	(1)授業の中で清書した履歴書を試験の代わりとして評価する。 (2)数回、課題を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
	履歴書	○		◎			80%				
	提出物	○	○		◎		20%				
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。										

科目名	社会教養ⅠA						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	宮崎・村上・平田
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	社会人になる上で必要とされる主体性や働きかけ力、状況把握力を養うことを目的とし、クラス運営や委員会活動を通して、自ら考え、工夫をして行動する力を身に付けていく。クラスメイトや担任といった身近な人の為に何ができるのかを日頃から意識して行動できるように、こういった心構えで生活すべきかを知る。また、後期に始まる就職活動準備に向けて、スケジュール管理や自己分析の仕方等についても学んでいく。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		各委員会の活動内容を理解し、担任の指示がなくても行動できる。	
		○		○		自身で目標を設定し、達成に向けた行動を心がけることができる。	
		○		○		東京研修事前課題において、グループで協力をして資料作成をし、発表することができる。	
				○		提出期限を厳守することができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	クラス内オリエンテーション				特になし。	
	2	目標設定・クラス内委員会活動について				目標を考えてくること。(0.5時間)	
	3	1・2年生交流会				先輩への質問事項を考えてくること。(0.5時間)	
	4	東京研修について(事前課題への取り組み)				特になし。	
	5	就職活動準備について ①就職スケジュール、試験内容の確認				希望職種の試験スケジュールを調べてくること。(0.5時間)	
	6	就職活動準備について ②自己分析				特になし。	
	7	東京研修事前課題発表会				各グループで発表準備を行うこと。(1.5時間)	
	8	就職活動準備について ③自己PR、職種志望動機作成について				特になし。	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)前期中に3回作文を提出する。(2)東京研修事前課題を行う(資料作成・プレゼンテーション)。(3)数回、提出物を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作文提出	○			○		70%
	東京研修事前課題		○		○		20%
	提出物				○		10%
履修上の注意	特になし。						

科目名	GCB I							
科目名(英)	Global Citizen Basic I							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	宮崎・村上・平田	
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科・1年							
授業概要	自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーションなど、社会で生き抜くうえでの“人間力”の根本は、自分の環境における感謝の気持ちにある。日常生活の中で「与えられることが普通」と思ってしまう“他者依存”から脱却し、周囲との協働を保ちつつ使命感を持って行動できる自立心を目指す。							
授業形式	講義：○		演習：△		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
				○		自ら考え、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。		
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I 感謝心と思いやりの教育(学生用テキスト)							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンを目指そう					振り返りレポートの作成(1時間)	
	2	「協働」の態度を持った学生生活					振り返りレポートの作成(1時間)	
	3	よりより人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～					振り返りレポートの作成(1時間)	
	4	マナーの本質 I					振り返りレポートの作成(1時間)	
	5	マナーの本質 II					振り返りレポートの作成(1時間)	
	6	グローバルシティズンとしての日常					振り返りレポートの作成(1時間)	
	7	グローバルシティズンとしての目標					振り返りレポートの作成(1時間)	
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて					振り返りレポートの作成(1時間)	
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	レポート作成・発表				◎		100%	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。							